I	業概要		**	遺評価も	`						課名	子官	で支援課	事業No.		110
	714 17702										会計	一般会		3.5/4.10.		
	事務	事業名		重症心身障害児通園事業							業区分	13.7.2	政策	実施区分		継続
										開始		H19	終了			
	Ė	主要区分			記号計画等名称											
根 拠		_														
	単 単	戦略計画														
				+1	域福祉	<u> </u>										
	分野別計画			1	3.以什么(Li	1四										
	/3.	T) //) H F	<u> </u>													
					児童福祉法											
	法令	▶・例規	!等	隨	がい者	総合支援法										
_	+ ₩□	66	対	象	症心身	障害児とその	の保護	锗								
	事業目	R.A	意	図 係	康状態	に合わせたi	角園を	し、個々の	の機能制	練や家原	生外での流	手動・6	本験の場を広	げ発達を支援	しま	す 。
重	業内容		72.1	- k		10 17 0707		- O	· > 1/2/10/1/	1111111		1 ±13 F	1 37 57 37 6 74	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
-	** **********************************	-			I	双組内容				経費の内容					- ∄	業費(千円)
		個々	に対す	する必要		を十分把握し	ノ、リ	ハビリや研	开修会	臨時職員賃金				7,7		
		で得た	専門的	勺な知識	や技術な	を、生活の場	易でフ	ルに活かし	ノ繰り	光熱水費					1,1	
		返し実践しました。														
			医療機関との連携・相談が必須であると感じました。													
								•								
204	= #	11 112-4		思いを傾	聴し個	々の成長を信	足すと	ともに、近	通所す							
	年度 '细	る意義	を感し	思いを傾 ごられる	聴し個		足すと	ともに、近	通所す							
	//D	11 112-4	を感し	思いを傾 ごられる	聴し個	々の成長を信	足すと	ともに、近	通所す							
	//D	る意義	を感し	思いを傾 ごられる	聴し個	々の成長を信	足すと	ともに、近	通所す							
	//D	る意義	を感し	思いを傾 ごられる	聴し個	々の成長を信	足すと	ともに、近	通所す							
	//D	る意義	を感し	思いを傾 ごられる	聴し個	々の成長を信	足すと	ともに、近	通所す	その他の	の経費					7
	//D	る意義がけ実	を感し 践しる	思いを解 ごられる ました。	聴し個/ よう、『	々の成長を化	足すと	ともに、追供すること	通所す こを心	その他(28年度	の経費 平成29:	年度	平成30年度	平成31年	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	//D	る意義がけ実	を感し 践しる	思いを解 ごられる ました。	聴し個/ よう、『	々の成長を信	足すと	ともに、近	亜所す こを心 平成 :			_	平成30年度	平成31年	安	7 平成32年 実績
	組	る意義がけ実	を践した。	思いを傾 がられる ました。 (数値	聴し個/ よう、『	々の成長を化	足すと	ともに、近 供すること 単位 人	亜所す こを心 平成 :	28年度 E績 5	平成29:	7				平成32年
	組	る意義 がけ実 登録者 延べ利	を践り、「たっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	思いた。 (数値 数	聴し個なよう、『で表せる	々の成長を化	足すと	ともに、i 供すること 単位 人 人	亜所す こを心 平成 :	28年度	平成29:	7 243			安	平成32年
取	組	る意義 がけ実 登録者 延べ利	を践り、「たっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	思いを傾 がられる ました。 (数値	聴し個なよう、『で表せる	々の成長を化	足すと	ともに、近 供すること 単位 人	亜所す こを心 平成 :	28年度 E績 5	平成29:	7			安	平成32年
取	組	る意義 がけ実 登録者 延べ利	を践り、「たっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	思いた。 (数値 数	聴し個なよう、『で表せる	々の成長を化	足すと	ともに、i 供すること 単位 人 人	亜所す こを心 平成 :	28年度	平成29:	7 243			变	平成32年
取	組	る意義 がけ実 登録者 延べ利	を践り、「たっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	思いた。 (数値 数	聴し個なよう、『で表せる	々の成長を化	足すと	ともに、i 供すること 単位 人 人	亜所す こを心 平成 :	28年度	平成29:	7 243			安	平成32年
取	組	る意義 がけ実 登録者 延べ利	を践り、「たっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	思いた。 (数値 数	聴し個なよう、『で表せる	々の成長を化	足すと	ともに、i 供すること 単位 人 人	亜所す こを心 平成 :	28年度	平成29:	7 243			ŤŸ.	平成32年
取	組	る意義 がけ実 登録者 延べ利	を践り、「たっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	思いた。 (数値 数	聴し個なよう、『で表せる	々の成長を化	足すと	ともに、i 供すること 単位 人 人	亜所す こを心 平成 :	28年度	平成29:	7 243			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成32年
取	組	る意義 がけ実 登録者 延べ利	を践り、「たっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	思いられる。 じられる。 (数値 文 D平均和	聴し個なよう、『で表せる	々の成長を化	足すと	ともに、i 供すること 単位 人 人	亜所す こを心 平成 :	28年度	平成29	7 243 1	実績		度	平成32年
取	組	る意義 がけ実 登録者 延べ利	(を践	思いられた。 (数値 D 平均和	聴し個なよう、『で表せる	々の成長を仏 専門的な療育 る活動量)	足すと提	ともに、i 供すること 単位 人 人	・ 平成 写	28年度 注績 5 187 1	平成29: 実績 特定財源	7 243 1			THE STATE OF THE S	平成32年
野	指標:	る意義 がけ実 登録者 延べ利	を践 指数用人数 予決国	思 い ら し (数 の の の の の の の の の の の の の	で表せく 用者数	々の成長を化 専門的な療育 る活動量) 10,828	足すと提出するとは、	ともに、近 供すること 単位 人 人 人	・ では、	28年度 E 編 5 187 1 1	平成29: 実績 特定財源	7 243 1	実績		ŧ	平成32年
5動:	指標・	る意義 がけ実 登録者 延べ利	を践 指数用たりの 予決 国県	思 い ら し (数 D 平 類 額 額	で表せく 用者数	々の成長を化 専門的な療育 る活動量) 3活動量) 10,828 9,709	足すと提出するとは、	ともに、近 供すること 単位 人 人 人	・ では、	28年度 E 編 5 187 1 1	平成29: 実績 特定財源	7 243 1	実績		变	平成32年

- 般財源 3 事務事業を構成する予算科目

状況

その他

5,806

3,903

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	4	14	1	10,828	9,709	重症心身障害児通園事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識 保護者の職員に対する専門的な指導の要望が高まり、より細やかな支援内容の充実を図りたいと思いました。また重篤なケースも増えており、医療機関とのスムーズな連携が求められていると感じました。									
	上記の課題解決 のための有効策 職員の資質向上を図るため、研修の場を確保し繰り返し実践していきます。								
	次年度に向けて の取り組み 登園が難しい児童について、居宅訪問型事業を参考に訪問療育を増やし、多職種で協力して支援内容の充実を図ります。								